

関係機関と連携: 中高生イノベーションプログラム / EDGE-PRIME Initiative 山形大学 Yamagata University

中高生イノベーションプログラム

若い世代から起業家マインドの醸成を図り、地域に目を向け課題解決に取り組む意欲ある生徒を育成。

- メンタリング、アイデア検討の合宿を経てチームでビジネスプランを構築し発表。

EDGE-PRIME Initiative

step1

〔学びの場〕

アントレプレナーシップ教育の裾野拡大に向けた中高生向けの取り組み。

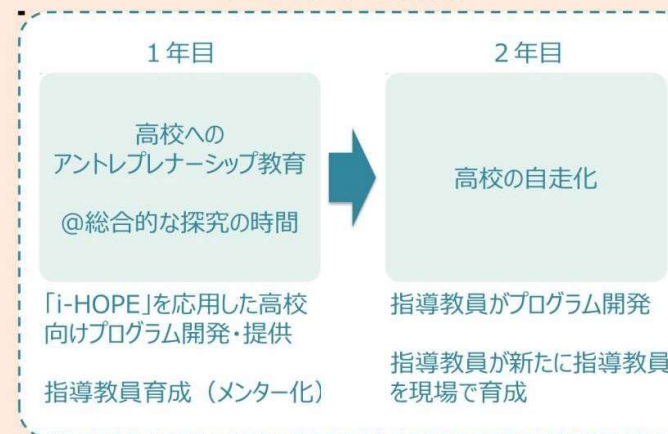
- 高校向け（鶴岡工業高校、新庄東高校）のカリキュラムを開発。
- 中学校でのワークショップを実施。

プログラムの流れ

キックオフ+講義	対面+オンラインで実施
オンラインメンタリング①	課題解決 ビジネスアイデア検討 チームディスカッション+メンタリング
オンラインメンタリング②	課題解決 ビジネスアイデア検討 チームディスカッション+メンタリング
合宿期間（1泊2日）	課題解決 ビジネスアイデア検討 チームディスカッション+メンタリング
最終発表会	最終プレゼンテーション 審査表彰

- 山形産業支援機構、山形放送と共催
- 2019年以降、6年間で500名以上が参加

プラットフォーム形成



鶴岡工業高等学校での講義



新庄東高校との連携

関係機関と連携:山形県XRビジネス創出事業

step2

〔共創の拠点〕

山形県XRビジネス創出事業

- デジタル人材の育成、デジタル関連産業の集積を目指す
- 山形県産業の新たな柱としてデジタルコンテンツ産業を新興し、所得の高い仕事の増加、若者・女性の県内定着及び産業の高付加価値化、スタートアップ創出を推進する
- 事業を効果的に実施するため、産学官が連携し「ヤマガタリアルメタバース研究所」を立ち上げ



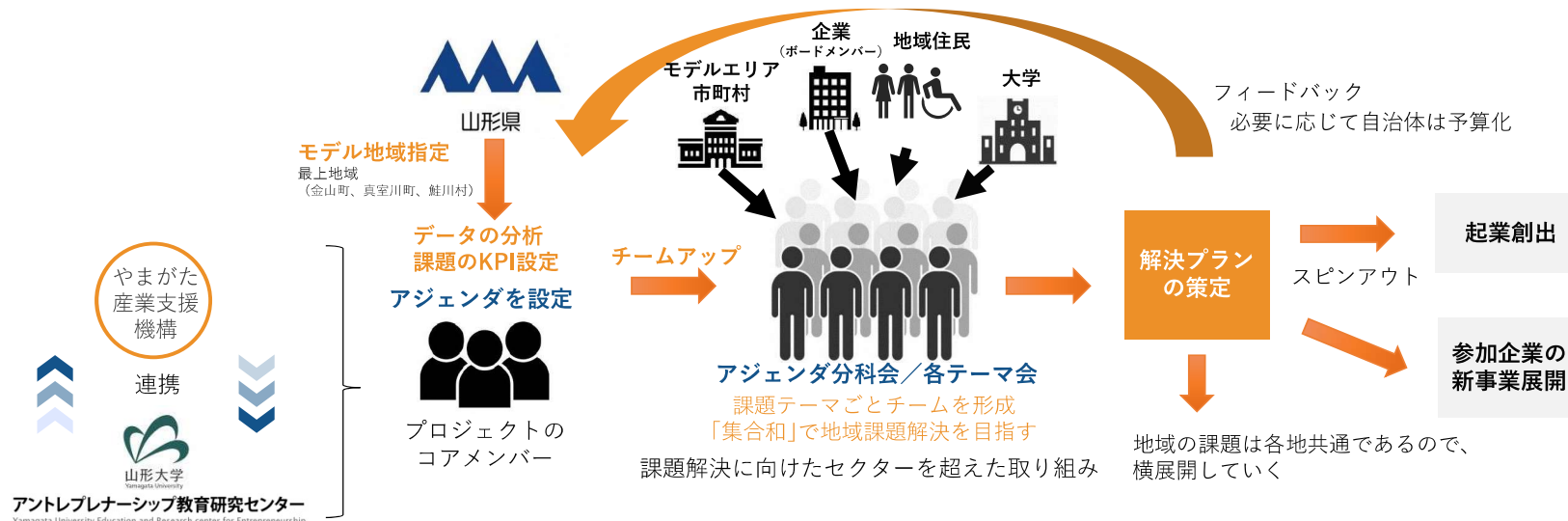
- 2024年6月から事業開始
- ヤマガタリアルメタバース研究所の運營業務を山形大学が受託し活動を推進
- 山形県内の学生・社会人がXRに触れ、XRを学ぶ機会提供のため、体験会・セミナーを実施
- 主に県内の企業、大学、高校から2024年度合計で1600人以上が各取り組みに参加

関係機関と連携：山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

Yamagata yori-i project 山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

step3
〔実践フィールド〕

- 大学や企業、行政などがセクターを超えワンチームとして地域課題を解決
- 一過性のイベントではなく、経済効果・利益を生み出すエコシステムを構築
- 起業や新規事業が持続的に生まれる仕組みを構築し、他地域へ展開



- 事業実施期間：2022年4月～2025年3月末 18社創出
- 最上地域からスタートし、2024年度より県内全域に活動を拡大
- 160以上のボードメンバーが事業に参画
- プロジェクト運営でやまがた産業支援機構と連携



フィールドワーク

記者会見

ウズベキスタン共和国 ビジネス開発銀行向け教育プログラム

ウズベキスタン共和国では、急激な人口増加に事業創出が追いつかず高い失業率が課題になっている。政府として、既存産業、特に中小零細企業の事業成長、及び 起業を通じた雇用機会の創出を重点政策としており、教育を通じて質の高い経営者の輩出を国策としている。その政策の一環として、ウズベキスタン労働省傘下のビジネス開発銀行から、山形大学にアントレプレナー教育の提供依頼の要請があり、2024年度に起業家育成プログラムの提供する契約を締結し、プログラムをウズベキスタン向けにて実施した。

政府系銀行 ビジネス開発銀行(BDB)と
プログラム提供についてLOIを調印

(2024/1/10)



ウズベキスタン・日本 ビジネスフォーラムでのお披露目

(1月10日@ウズベキスタン タシケント)

ビジネス開発銀行(BDB)向けに
起業家育成プログラム提供の
事業委託契約を締結

(2024/3/7)



契約締結、山形大学 学長記者会見でお披露目

(3月13日@山形大学)

ウズベキスタン共和国 ビジネス開発銀行向け教育プログラム

ビジネス開発銀行(BDB)との事業委託契約に基づき、2024年はウズベキスタン向けの起業家育成プログラムU-HOPEとして、1. 中小企業経営者向けオンデマンド講義、2. 経営者を育成する指導者候補生向けの研修、3.BDBの各部署の管理職向けに日本にて研修を実施。

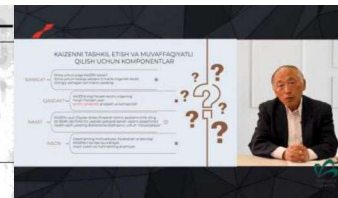
市場調査、プロモーション活動 2024年4月：4地区でセミナー、中小企業(SME)訪問 11社

U-HOPEのプロモーションのために、ウズベキスタンの首都タシケント市の他に、ヌクス、ウルゲンチ、ブハラの地方を訪問し、U-HOPE紹介のセミナーの開催。あわせて現地のSMEを訪問し、事業課題のヒヤリングを実施し、プログラムに反映した。



Program 1： 中小企業経営者(SME)向けオンデマンド講義 受講者：17,000人、 2024年 9月～12月

幅広い中小企業経営者層（製造業、農業、飲食業ほか）向けに、事業を起こすために必要な基礎知識の講義動画と日本の地方における事業化の成功事例（ケーススタディ）動画、併せて17本をBDBのWebポータル上で提供。17,000名以上が受講。



Program 2 指導者（メンター）育成研修 受講者：24名、 6月:Kick Off、7月:WS1、10月:WS2@日本

ウズベキスタン現地で指導者となるメンターを育成する為に、選抜されたアントレプレナー24名に指導者として必要なマインドセット、スキルセットの講義、グループで作成したビジネスプランを日本のメンターから指導を受け、指導方法を自ら体験し学んだ。 最終発表（WS2）は、日本の企業視察も兼ねて、山形で実施した。



Program 3: BDB 管理職向け研修 受講者：27名 1月@日本

BDB銀行の各部署の管理職 26名と、政府機関の経済財務省から 1名が、日本（山形県）にて研修を受講。リーダーシップや、リーマンマネジメントの講義、中小企業を支援する仕組みや事業を創出するための銀行の役割などをゲスト講師から学んだ。また、KAIZENの取り組みなど具体的な知見を習得した。



今後の連携に向けて

山形大学の教育資産と先進的な取り組みを融合した実践的なプログラムをご提供します。

解決したい課題	解決に向けて活用できるプログラム
新たな市場を開拓したい、新規事業を立ち上げたい	新事業創出イノベーションプログラム
従業員の創造的思考を強化したい 社内でのイノベーション文化を促進したい	新事業創出イノベーションプログラム
若手社員のリーダーシップ能力を育成したい プロジェクトマネジメント力を強化したい	新事業創出イノベーションプログラム リーンマネジメント推進リーダー育成コース
既存事業の効率化と収益改善を図りたい	リーンマネジメント推進リーダー育成コース
デジタル変革（DX）を進めたい ITスキルを持つ社員を増やしたい	IT人材育成プログラム（SEPS-PRO） ヤマガタリアルメタバース研究所
地域課題解決型学習を取り入れたい 教育の場での起業家精神を育む文化を醸成したい	中高生向けイノベーションプログラム IT人材育成プログラム（SEPS）
多様性（ダイバーシティ）を活かした組織作りを進めたい 地域活性化の新しいモデルを作りたい	産学官連携・地域連携事業

参加者の声

新事業創出の『核心に迫る』教育プログラム

TPR株式会社 先行開発部 部長 志水 利彰 さん



新事業創出を検討する際、コンサルタントを入れようかという話になるのですが、コンサルタントは新事業創出の方法を教えることがメインです。しかし、このプログラムでは、教育機関が運営しているので、方法だけでなく、それを実現しようとするそもそものマインドや志向する習慣を身につけることができ、**コンサルタントとは異なる価値を実感しました。**

本プログラムはまさに『新事業創出するための課題』に対して、真に深掘りをした教育活動でした。全国でもアントレプレナーシップを学べる取り組みは増えていますが、その先駆的な存在だと感じました。

新事業創出イノベーションプログラム（山形大学人材育成プログラム i-HOPE 2024）

チーム全体の業務の効率化を実感

株式会社ダイユー 業務Group 生産管理Team 班長 伊藤 真菜 さん



講義だけでなく、実際に手を動かして学ぶ機会が多いため、「実践的な研修を受けたい」と考えている方におすすめのプログラムです。講義で学んだ『業務の見える化』を職場で実践したところ、**チーム全体の業務効率が向上するのを実感しました。**

また、県内企業の現場を見学し、チームで改善案を検討する「現場実習」では、異なる業種・役職のメンバーと意見交換をするので、自分にはない視点を吸収することができました。会社に戻った後も、**自分の中の新しい引き出しが増えた**と感じています。「何かを学びたいけれど、なかなか踏み出せない」と感じている方には、ぜひ受講をおすすめしたいです。

リーンマネジメント推進リーダー育成コース（山形大学人材育成プログラム 2024）

自分の人生が変わる8カ月間でした

愛和建设株式会社 経営企画部 課長 荒井 愛 さん



このプログラムを受講してから、**日常のあらゆるものに対して「なぜ？」と考える習慣が身につきました。**「この商品はなぜ人気なのか？」「なぜ売れているのか？」「価値はどこにあるのか？」「真似できることはあるのか？」と深く考えるようになり、思考の幅が大きく広がりました。何も感じないのはもったいないと思うようになり、まさに頭の造りが変わった感覚です。

人生の中のたった8カ月、69時間の学びですが、**積極的に参加を続けることで必ず自分の人生が変わると思います。**ぜひチャンスを掴みにいってみてはどうでしょうか。

新事業創出イノベーションプログラム（山形大学人材育成プログラム i-HOPE 2024）

新しい自分を発見し、『起業』という選択肢が増えました

鶴岡工業高等学校 3年生 小林 瑛大 さん



私はもともと自分の意見を発するのが苦手でしたが、チームで意見を交わす中で、**自信を持って発言できるようになりました。**今回身に付いた積極性を活かし、日常生活でも自分から質問や提案を行う機会が増えました。進学先でも「聞く力」を大切にしながら、積極的に取り組む予定です。

また、起業している会社を見る際には、自然と収支計画やビジネスの仕組みを想像するようになり、**新しい視点で物事を見る力がつきました。**私は、本プログラムを通じて、新しい自分を発見することができ、『起業』という選択肢が増えました。皆さんもぜひ挑戦してみてください！

中高生向けイノベーションプログラム（EDGE-PRIME Initiative）